連載17 そして音楽の旅は続く

ジャズボーカリスト
星乃けい
officialwebsite
https://www.hoshinokei.com

Charの事務所で裏方に徹して解った事。

※Char（チャー）：ギタリスト、シンガーソングライター、音楽プロデューサー。「気絶するほど悩ましい」は有名。

NSPのリーダー天野滋さんの曲でデビューして、全国キャンペーンをしましたが残念ながらヒットしませんでした。ヒットしなければ次のレコードのお話しもアルバムのお話しも、専属契約の更新もありません。ずいぶん長い間ヤマハに育てていただきましたが、そろそろ自分の身の振り方を考える時がきたようです。

ちょうどその頃、担当ディレクターの萩原さんが音楽制作会社を立ち上げました。萩原さんが育てていたCharの事務所です。ありがたいことに私はその事務所に雇ってもらえることになりました。でもアーティストとしてではなく、オフィスで経理やファンクラブ運営、マネージャー補佐として。

萩原さんに拾ってもらって本当に感謝しています。ヤマハとの契約が切れれば住む家もなくなり、引越代も家賃も光熱費も必要で、文字通り路頭に迷うところでした。この頃、Charは大ブレイクのスタートをしたところで、事務所はてんてこ舞いの忙しさでした。みんなの持ってくる領収書の精算や帳簿付けを必死にやりましたが、今の様にPCが無かったので昔は全て手書き。間違いの多い私の付けた帳簿は赤線と訂正印だらけでした。初めてのオフィスワークなので電話の受け答えも難しかったなぁ。もちろん次第に慣れていき、そのうち落ち着いて周りを観察するようになりました。

これまでヤマハでは、音楽を創ることをたくさん経験させて貰いました。今この事務所で私が学ぶのは、マネージメントの勉強です。仕事を取ってくること、収支を見る事です。この事務所は強力なブレーンを持っていたので、それぞれが力を出し合ってCharを売り出し、軌道に乗っていました。お付き合いのある関係者は揃って有力者でした。どなたにお会いしても学びの多い人物だらけで、楽しかったです。

アーティスト本人が魅力を持っていることは当然ですが、売れっ子を産み出すブレーンの凄さを目の当たりにすることになりました。とにかく忙しい！ お休みは殆ど取れず、放送局や取材の問い合わせなどで電話が鳴りっぱなし。アーティストの目線しかなかった私は、ここで裏方の大変さを身をもって思い知りました。

ヤマハにいたときのスケジュールはマネージャーが放送局などに電話して足を運んで、お願いしてお願いして、やっと取れた仕事だった。わがまま言って困らせたとき、丸く収めてくれたのも裏方のスタッフ。ヤマハを辞めてからでは遅いのですが、スタッフの皆様に本当にありがとうと伝えたいな。

今月はバレンタインデーがありますね。愛の告白もいいけれど、ありがとうを伝える日だったら、もっともっと素敵。

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される